

全国の子ども病院初！
患者さんやご家族に向けて、大阪母子医療センターの診療内容を
わかりやすく解説した医療読本を出版。
「こどもと妊婦の病気・治療がわかる本—大阪母子医療センターの今—」

大阪府立病院機構 大阪母子医療センターでは、センター所属の医療最前線で勤務する医師、看護師、コメディカル等の執筆による、子どもや妊婦の病気の治療などを、わかりやすく解説した書籍を株式会社バリューメディカルより平成30年1月に出版いたしました。

医療関係者のみならず、大阪府民を始め広く多くの方に読んでいただき、大阪母子医療センターについて知っていただくとともに、身近な存在に感じていただけたらと考えています。



↑左) 編集委員長の木内 恵子 (きのうち けいこ) 病院長
右) 副編集委員長の位田 忍 (いだ しのぶ) 副院長

■書籍出版の背景と販売先・配架先について

大阪母子医療センターは今年度、センターで実施している医療内容について広く府民への周知を図るため、地域のイベントへの参加など様々な広報強化の取組を行ってきました。

この度、子ども病院としては日本初となるセンター書籍を出版し、センター内のコンビニエンスストアを始め、府内及び周辺府県の書店やインターネット上の通販サイト等で販売いたします。また、大阪府内の公共図書館、自治体の子ども部門、関係医療機関等にも、配架を依頼いたします。これにより、センターに来院される方はもちろん、センターに来られる機会が無くても子ども・妊婦の病気に興味のある方や、医療行政に関心のある方に幅広くセンターの取組を知っていただく機会になればと考えています。

■書籍の出版に関して

1. タイトル…こどもと妊婦の病気・治療がわかる本—大阪母子医療センターの今—
2. サイズ …A5版 328ページ
3. 価格 …税込1,620円
4. 内容 …本書は5つのパートから構成されています。
 - ・パート1「チームで取り組む・地域との連携」…複数の診療科や地域と連携した医療の紹介
 - ・パート2「最先端・高度な医療」…センターで実施している最先端の治療内容を紹介
 - ・パート3「母子医療センターの得意な診療」…各診療科の得意分野を紹介
 - ・パート4「寄り添う」…患者さんとその家族の気持ちに寄り添う取組を紹介
 - ・パート5「病院を支える部門」…医師・看護師以外の様々な職種の取組を紹介
 - ・その他、巻頭カラーページや医療従事者によるエッセイ、患者さんの体験談等を掲載しています。